



岡本 英之 千葉支部 常任幹事

実際初めて具体的に補助先を見て、
こういう事業をやっているんだと実感しました。

今回は千葉支部の岡本英之選手に介護予防スポーツ施設「サイクルハウス開拓」を訪問していただきました。高齢者の健康維持とより良い生活をサポートする施設を見学されての感想や、支部についてのお話などを伺いました。

競輪つてこんなこと やっっているんだ!!

4月から支部長が変わって新しい体制になりました。
今は千葉支部全体がまとまって良い方向に頑張っています。

——まずは施設を訪問されて、どんな感想を持たれましたか？

「今回のお話をいただくまで全く知らなかったんですけど、ちよつとネットで見た感じでは普通のスポーツクラブなのかなって思っていたんです。でも実際に来てみたら主に高齢者の方を対象にしているということ、僕の勉強不足もあるかも知れませんが、こういう施設は初めてですね。なによりとても地域に根付いているというのが印象深かったです」

——今、高齢化や介護の問題は深刻ですし、こういう施設は今後どんどん必要とされますよね。

「本当にそうですね。補助事業に関しては、競輪学校時代に交付

金の仕組みについてだけは習っていたんですけど、実際初めてこういう具体的な目で見て、ああこういう事業をやっているんだなっていう実感したというか。補助金があるという形で使われているのであれば、とても良いことだと思いますね」

——現在の千葉支部はどんな雰囲気ですか？

「4月から支部長が変わって新体制になったんですけど、篠田宗克支部長自身が42歳と若いですし、わりと皆の歳が近いというか、和気あいあいと明るい雰囲気ですよ。3月にああいう大きな震災もありましたけど、今は千葉支部全体がまとまって良い方向に頑張っ

ていますね」

——支部でのファンサービスや社会貢献活動などはされていますか？

「4月は千葉競輪場の宿舎に震災の被災者の方がいらしていただいて、競輪場のイベントに招待したり、最後にはお別れ会のような形でこちらから慰問もして。あとは（知的障害者授産施設の）富里福葉苑さんとは以前からお付き合いがあつて、競輪のイベントに来ていただいたり、逆に向こうでイベントがあれば皆で手伝いに伺ったりしています」

——岡本選手が望む、今後の千葉支部の方向性などは？

「個人的には良い意味でフレンドリーというか、選手一人一人の色が出せて、それで上手くまとまれば、いいなと思いますね」

——最後に岡本選手自身の目標も聞かせてください。

「今年中にF1の優勝をしたいですね。それとまだ特別競輪を走ったことがないので、来年を目標に頑張りたいと思います」